

# つたやしのミニネタコーナー

ミニネタ  
No.45

## 音読を上達させる方法

国語の時間に、ひとり一文ずつ読ませていく。読み(まるよみ)をさせる先生はたくさんいるでしょう。しかし、子どもたちは音読が上達するでしょうか?多くの場合は、習慣で読ませているだけで、なかなか上達しないことが多いのではないのでしょうか?

そこで私が、音読の上達に効果的だと考える方法を紹介します。

① 「上手な音読」の評価規準を決めます。私の学級では「スラスラ読める」「大きな声で読める」の二点にしています。(以後、「抑揚をつける」や「感情をこめる」などの規準も加えますが、最初はこの二つがいいでしょう。)

② クラス全員で「読み」をします。その際に先ほどの規準に照らし合わせて「上手だな」と感じた子の名前をチェックしておきます。つまりは「合格者」です。

③ 先ほどチェックした「合格者」に起立してもらいます。そして「あなたたちはとても上手でした。今からあなたたちだけ

で。読み」してください」と言って合格者だけに読ませます。とても上手に読めるはずですよ。

④ 終わったら、聞いていた人に「この人たちの音読はどこが良かったですか?」と聞きます。そうすることで、「合格者」の良いところに気付くことができます。

⑤ 次に合格しなかった子たちだけで読ませます。この時の人数は全体の半分以上であることが大切です。それより少ないと、彼らはもつと萎縮して音読が下手になっていきます。

⑥ 今度はその子たちの良かったところを「合格者」に聞きませます。

⑦ 最後に全員で「読み」をします。多くが初めより上手に読めます。このとき、依然うまくない子がいてもいいのです。これを繰り返すことで徐々に自信をつけて上手になっていきます。

この指導原理は「全員にしっかりフィードバックすること」です。個別に評価されているという意識が、子どものやる気を上向きさせます。